



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月28日

上場会社名 石原ケミカル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4462 URL <https://www.unicon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 保幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 山口 恭正 (TEL) 078-681-4801  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 2021年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,608	18.1	1,337	125.6	1,421	114.7	1,136	121.3
2021年3月期第2四半期	8,135	△1.8	592	△31.2	662	△26.3	513	△19.6

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,066百万円( 38.7%) 2021年3月期第2四半期 768百万円( 9.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	71.63	—
2021年3月期第2四半期	31.96	—

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	25,622	20,955	81.8
2021年3月期	24,940	20,526	82.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 20,955百万円 2021年3月期 20,526百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
2022年3月期	—	25.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	12.50	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期及び2022年3月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,800	10.8	2,300	34.8	2,400	29.5	1,900	26.3	120.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	16,308,280株	2021年3月期	16,308,280株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	641,828株	2021年3月期	241,604株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	15,866,630株	2021年3月期2Q	16,066,676株

(注)当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続きました。また、新型コロナウイルスワクチンの接種が進んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しは未だ不透明であります。

このような状況の中、当社グループは、前年から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として在宅勤務や分散勤務を実施したうえで、Web会議システムを活用した営業活動を進めるなど、高付加価値製品の市場展開に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,608百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益1,337百万円（前年同期比125.6%増）、経常利益1,421百万円（前年同期比114.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,136百万円（前年同期比121.3%増）となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりであります。

#### <金属表面処理剤及び機器等>

電子部品業界は、新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワークの普及、巣ごもり需要の拡大による恩恵を受け、パソコン、ゲーム機の需要拡大や5Gの普及に伴うサーバーの需要拡大などの要因により、金属表面処理剤は好調に推移しました。

また、化成処理液自動管理装置等は、パソコン、スマートフォン、データセンター向けパッケージ基板が好調だったことにより、設備投資が旺盛となり、販売は好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、5,446百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

#### <電子材料>

機能材料加工品は、半導体市況が好調であり、半導体製造装置向けセラミック及びエンブラの売上が堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、372百万円（前年同期比30.5%増）となりました。

#### <自動車用化学製品等>

エアコン洗浄剤は、取組カーディーラーの拡大、さらには新型コロナウイルス感染症の影響による消費者の衛生意識の向上もあり、前年を上回りました。また、コンパウンドは、新製品を発売したこともあり、前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、1,683百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

#### <工業薬品>

鉄鋼会社を中心に需要の回復は見られますが、特殊鋼板の減産による薬剤の使用量減及び「収益認識に関する会計基準」を適用した影響により、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、2,105百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の業績予想につきましては、2021年9月15日に公表いたしました業績予想値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,220,351	6,504,179
受取手形及び売掛金	3,862,661	3,987,573
電子記録債権	462,677	562,298
有価証券	100,050	—
商品及び製品	823,409	840,972
仕掛品	139,555	198,839
原材料及び貯蔵品	607,365	561,718
その他	37,994	82,332
流動資産合計	11,254,064	12,737,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,195,858	3,187,594
その他(純額)	2,500,539	2,397,019
有形固定資産合計	5,696,397	5,584,613
無形固定資産		
	103,996	91,075
投資その他の資産		
投資有価証券	6,706,419	6,179,655
その他	1,185,304	1,034,128
貸倒引当金	△5,250	△5,250
投資その他の資産合計	7,886,473	7,208,533
固定資産合計	13,686,868	12,884,222
資産合計	24,940,932	25,622,136
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,623,554	1,892,064
電子記録債務	676,704	894,255
1年内返済予定の長期借入金	20,000	—
未払法人税等	535,767	501,220
賞与引当金	250,348	258,545
役員賞与引当金	48,800	20,496
その他	447,870	396,092
流動負債合計	3,603,044	3,962,673
固定負債		
退職給付に係る負債	59,423	50,369
その他	752,340	653,214
固定負債合計	811,763	703,584
負債合計	4,414,808	4,666,257

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,980,874	1,980,874
資本剰余金	2,293,384	2,293,384
利益剰余金	15,481,102	16,432,911
自己株式	△232,026	△683,531
株主資本合計	19,523,334	20,023,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,014,756	939,755
為替換算調整勘定	△11,965	△7,515
その他の包括利益累計額合計	1,002,790	932,240
純資産合計	20,526,124	20,955,878
負債純資産合計	24,940,932	25,622,136

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	8,135,760	9,608,057
売上原価	5,611,540	6,310,972
売上総利益	2,524,219	3,297,085
販売費及び一般管理費	1,931,352	1,959,626
営業利益	592,867	1,337,458
営業外収益		
受取利息	9,653	8,902
受取配当金	23,702	22,024
保険返戻金	1,411	25,070
その他	41,146	30,181
営業外収益合計	75,913	86,179
営業外費用		
支払利息	207	92
自己株式取得費用	—	902
為替差損	4,297	—
賃貸費用	1,020	1,020
その他	1,105	4
営業外費用合計	6,630	2,019
経常利益	662,150	1,421,618
特別利益		
固定資産売却益	334	169
投資有価証券売却益	79,764	183,076
特別利益合計	80,098	183,246
特別損失		
固定資産除却損	4,473	390
特別損失合計	4,473	390
税金等調整前四半期純利益	737,776	1,604,474
法人税等	224,237	467,898
四半期純利益	513,538	1,136,576
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	513,538	1,136,576

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	513,538	1,136,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	256,177	△75,000
為替換算調整勘定	△1,294	4,450
その他の包括利益合計	254,882	△70,550
四半期包括利益	768,421	1,066,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	768,421	1,066,026
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は134,002千円減少しておりますが、損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。